

情 報 公 開 文 書

研究の名称	海洋深層水を利用した病理検査の精度向上を目的とした細胞学的検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院 病理部
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 病理部 臨床検査技師長 田近 洋介
研究の概要	【研究対象者】 1991年1月1日～2025年8月31日の間に、富山大学附属病院および富山県済生会富山病院で採取された既存の病理組織検体および細胞診検体。 【研究の目的・意義】 本研究は、既存の検体を用いて海洋深層水処理による細胞形態保持能や変性抑制効果を検証し、従来处理法と比較することで病理検査の精度向上を目指します。これにより、より正確で信頼性の高い病理診断を実現し、社会的利益に資することを目的としています。 【研究の方法】 ・既存の病理細胞診・組織検体を対象に、海洋深層水処理群と従来处理群を比較検討します。 ・形態学的評価、免疫組織化学的評価、分子病理学的評価を行い、精度や再現性を検証します。 ・解析には、t検定、χ^2検定、ロジスティック回帰、Kaplan-Meier法などの統計学的手法を用います。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2030年8月31日 【利益相反の状況】 本研究に係る企業等との利益相反はありません。研究費は富山県依託研究費、教育・研究費および科学研究費を用います。 【研究結果の公表の方法】 患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。研究成果は学会発表や学術雑誌で報告されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。 【試料・情報の二次利用について】 本研究で得られた成果は、将来的に検査精度向上のための新たな研究に利用される可能性があります。その際には新規の研究計画書を作成し、改めて倫理審査委員会の承認を得た上で実施します。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	カルテ情報（病理診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、家族歴、血液検査結果、画像検査データ等）と細胞診標本を使用する研究で、新たな検査や費用が生じることはありません。他機関への情報や資料の提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院 病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関にお	富山大学附属病院病理部 田近 洋介

ける研究責任者の所属・氏名)	
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7745 FAX 076-434-5109 E-mail tajika@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院病理部 田近 洋介